

2012年(平成24年)9月30日(日)

第3回

岡崎 家康公検定

試験問題 100 問

問題はすべて四者択一です。(1)から(4)まで四つある答えの中から、正しい番号を選んで、その番号を答案用紙にご記入ください。

<記入例>

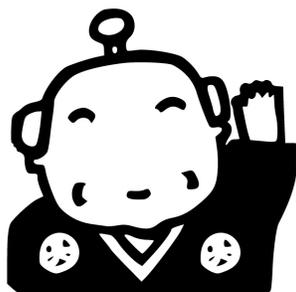
【101】家康公が、元服して最初に名乗った名前はどれでしょうか？

(1) 信長 (2) 信康 (3) 元信 (4) 元康

↓ 答案用紙

100	101	102
	3	

同じ番号の
ところに記
入してくだ
さい。



受験番号	お名前

【1】今年、平成24年(2012)は、家康公が生まれて何年目でしょうか？

- (1) 400年 (2) 450年 (3) 470年 (4) 500年

【2】家康公が生まれた頃は群雄割拠ぐんゆうがっきょの下克上げこくじょうの世の中で、幕府ばくふはあって無きがごときものでした。この時代の名目上とも言える武家の棟梁とうりょう(征夷大將軍せいゐ)は何氏だったでしょうか？

- (1) 足利氏あしかが (2) 上杉氏 (3) 新田氏にった (4) 北条氏ほうじょう

【3】三河の平定を成し遂なげた家康公の祖父 松平清康きよやすが生まれたのはどこでしょうか？

- (1) 安城城あんじょう (2) 岩津城いわづ (3) 岡崎城 (4) 松平城

【4】清康は大永3年(1523)に若くして松平家の当主となりますが、そのときの年齢は次のどれでしょうか？

- (1) 10歳 (2) 13歳 (3) 17歳 (4) 20歳

【5】大永4年(1524)、清康の岡崎入城に功のあった大久保忠茂ただしげは、新しい城下町の繁栄はんえいをはかるため、大手門前に「楽市楽座らくいちらくざ」を開き、ここに新しい商人の町が誕生しました。三河の中心商業地として発展することになるこの町は何町と呼ばれたのでしょうか？

- (1) 康生町こうせい (2) 伝馬町てんま (3) 門前町もんぜん (4) 連尺町れんしゃく

【6】享禄3年(1530)の正月、清康はある文字を左手に握にぎる夢を見ました。それを龍溪院りゅうけいゐんの僧たずに尋ねたところ、その文字は「天下人てんかびと」を意味し、清康自身が近い子孫が天下を取るだろうと予言しました。その文字とは次のどれでしょうか？

- (1) 是 (2) 徳 (3) 寅 (4) 龍

【7】享禄3年(1530)清康が安城から薬師堂やくしどうなど六坊を移転し、岡崎城の鬼門守きもん護とした寺はどこでしょうか？

- (1) 甲山寺こうざんじ (2) 随念寺ずいねんじ (3) 大樹寺だいじゅじ (4) 大林寺だいにんじ

【8】天文4年(1535)清康が松平氏の菩提寺ぼだいじ大樹寺に造営した多宝塔には、先祖の姓で清康の名前が記されています。その姓とは次のどれでしょうか？

- (1) 世良田せらだ (2) 徳川 (3) 藤原 (4) 源

【9】天文4年(1535)いよいよ尾張おわりへの進出を開始し、尾張領内に陣を構えていた清康は誤解から家臣に暗殺され、その三河支配体制は一気に崩くずれてしまいます。陣を構えた場所から、これを何と言うのでしょうか？

- (1) 熱田崩れあつた (2) 清洲崩れきよす (3) 丸山崩れまるやま (4) 守山崩れもりやま

【10】清康の遺体は岡崎に戻って茶毘たひに付され埋葬まいそうされました。後年、家康公はこの地に一寺を建立しますが、その寺は何と言うのでしょうか？

- (1) 松応寺 (2) 随念寺 (3) 滝山寺 (4) 大樹寺

【11】家康公の母於大おだいの実母で、政略結婚で清康の継室けいしつ(後妻)となった家康公の祖母は誰でしょうか？

- (1) 華陽院けよういん (2) 高台院こうだいいん (3) 随念院ずいねんいん (4) 伝通院でんつういん

【12】清康の死後、一族の松平信定に岡崎城を追われた幼い広忠ひろただ(家康公の父)は、天文6年(1537)に、ある有力大名の支援を得て岡崎城に戻ることができました。広忠の後ろ盾だてとなった有力大名とは次の誰のことでしょうか？

- (1) 今川義元 (2) 織田信秀 (3) 武田信虎 (4) 北条氏康

【13】天文10年(1541)、松平8代 広忠は、隣接する水野家との絆を深め松平宗家を守るため、水野家当主 忠政の娘 於大を正室に迎えました。この水野家の本拠はどこでしょうか？

- (1) 安城城 (2) 刈谷城 (3) 名古屋城 (4) 吉田城

【14】天文11年(1542)と17年(1548)の2回にわたり、今川軍と織田軍とが岡崎市内の同じ場所で合戦を行っています。同盟軍の先鋒として広忠が率いる松平勢も参戦したこの戦いは何と呼ばれるのでしょうか。

- (1) 小豆坂の戦い (2) 井田野の戦い
(3) 桶狭間の戦い (4) 三方ヶ原の戦い

【15】家康公の母 於大は家康公を出産する前に、ある寺社の薬師堂に参籠し、戦国の世を終わらせ、平和な世をもたらす男子を授かりたいと祈願しました。ある寺社とはどこのことでしょうか？

- (1) 信光明寺 (2) 加茂神社 (3) 鶴岡八幡宮 (4) 鳳来寺

【16】天文13年(1544)、広忠は於大を離縁し水野家に帰しました。離婚の理由は代替わりして当主となった於大の兄 水野信元が松平家の敵方になったためです。水野家はどの大名に付いたのでしょうか？

- (1) 今川家 (2) 織田家 (3) 武田家 (4) 豊臣家

【17】於大が離別されたあと、人質に出されるまでの幼い家康公(竹千代)を養育した於久とは、どのような関係の女性でしょうか？

- (1) 清康の妹 (2) 広忠の妹 (3) 於大の妹 (4) 家康公の姉

【18】天文16年(1547)、広忠は嫡男^{ちやくなん}竹千代(家康公)を人質として同盟国に送る途中、敵国に竹千代を奪^{うば}われてしまいます。竹千代を奪われた広忠が、このあとにとった行動は次のどれでしょうか？

- (1) 同盟先とのこれまでの盟約^{めいやく}を貰^{つらぬ}いた
- (2) 竹千代の身を案じ同盟先を変更した
- (3) 敵方^{みのしろきん}と身代金交渉を行って人質を取り返した
- (4) 敵方の子を捕らえ、人質交換を行った

【19】天文17年(1548)、実家に戻っていた於大は、兄水野信元の意向で知多郡阿久比^{あぐい}の坂部城主のもとに嫁ぎました。於大の再婚相手は誰^{だれ}でしょうか？

- (1) 奥平貞俊^{おくだいらさだとし}
- (2) 佐治一成^{さしかずなり}
- (3) 戸田康光^{とだやすみつ}
- (4) 久松俊勝^{ひさまつとしかつ}

【20】尾張^{あつた}熱田に人質として置かれていた竹千代(家康公)に対し、母於大はどのような行動をとっていたと伝わるのでしょうか？

- (1) 離縁^{りえん}した前夫との子なので、なんの気遣い^{きづか}もしなかった
- (2) 家人^{けにん}を介して衣服や食物を差し入れるなど、わが子の成長を気遣った
- (3) 季節ごとに竹千代のもとを訪^{おとず}れ、なくさめた
- (4) 何日間かは阿久比^{あぐい}の坂部城^{まね}に招いて弟たちといっしょに遊ばせた

【21】天文18年(1549)、広忠は岩松八弥^{はちや}によって暗殺されます。後年、家康公が父の菩提^{ぼだい}を弔^{とむら}うため、茶毘^{だび}に付された地に建立した寺はどれでしょうか？

- (1) 広忠寺
- (2) 松応寺
- (3) 随念寺
- (4) 大樹寺

【22】晩年は、駿府^{すんぶ}で人質生活を送っていた竹千代(家康公)の近くに寄り住み、竹千代が元服するまでの8年間、養育にあたった女性は誰でしょうか？

- (1) 華陽院
- (2) 高台院
- (3) 随念院
- (4) 伝通院

【23】弘治3年(1557)家康公の正妻となった瀬名姫(後の築山殿)はある有力な
武将の姪といわれますが、その武将とは誰でしょうか？

- (1) 今川義元 (2) 上杉謙信 (3) 織田信秀 (4) 武田信玄

【24】永禄元年(1558)元信と名乗っていた家康公は、崇敬する祖父 清康の一字
をもらって名を変えました。改名して名乗った名前はどれでしょうか？

- (1) 家康 (2) 信康 (3) 秀康 (4) 元康

【25】家康公は正室 築山殿との間に何人の子を授かったでしょうか？

- (1) 0人 (2) 1人 (3) 2人 (4) 3人

【26】永禄10年(1567)家康公の長男 信康に嫁いだ徳姫の父は誰でしょうか？

- (1) 今川義元 (2) 織田信長 (3) 武田信玄 (4) 北条氏直

【27】元亀元年(1570)家康公が浜松に居城を移したことに伴い、岡崎城主とな
ったのは誰でしょうか？

- (1) 家康公の長男 信康 (2) 石川数正
(3) 酒井忠次 (4) 本多重次

【28】天正2年(1574)築山殿の侍女 於万(後の小督局)が出産した家康公の二
男の幼名はどれでしょうか？

- (1) 於義丸 (2) 竹千代 (3) 長丸 (4) 松千代

【29】天正4年(1576)家康公の長女 亀姫は、長篠^{ながしの}の合戦で戦功のあった東三河の武将に嫁ぎます。関ヶ原^{みのかのう}の合戦後、美濃加納10万石の大名となったこの武将は誰^{だれ}でしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 奥平信昌 (3) 菅原定盈^{すがわらさだみつ} (4) 山内一豊

【30】天正7年(1579)非業^{ひごう}の死を遂げた築山殿^との首は祐伝寺^{ゆうでんじ}(岡崎市)に葬^{ほうむ}られましたが、江戸時代に別の場所に移され現在に至ります。築山殿の首塚がある別の場所とはどこでしょうか？

- (1) 滝山東照宮^{たきさん} (2) 八柱神社^{やはしら} (3) 六所神社^{ろくしょ} (4) 若宮八幡宮

【31】武田氏との内通^{ないつう}の容疑^{ようぎ}で、長男 信康の処分を織田信長から命じられた家康公は、身の潔白^{けっぱく}を訴^{うった}える信康の身柄^{みがら}を転々とさせますが、最後、信康は大久保忠世^{ただよ}の居城にて切腹^{せっぽく}しました。信康の最後の地となったこの城はどこでしょうか？

- (1) 上和田城^{かみわだ} (2) 駿府城 (3) 高天神城^{たかてんじん} (4) 二俣城^{ふたまた}

【32】家康公の長男 信康の首塚がある岡崎市内の神社はどこでしょうか？

- (1) 伊賀八幡宮 (2) 岡崎八幡宮 (3) 山中八幡宮 (4) 若宮八幡宮

【33】家康公が、長男の信康と親子で同じ戦場で戦った合戦は次のどれでしょうか？

- (1) 小牧・長久手の合戦 (2) 関ヶ原の合戦
(3) 長篠の合戦 (4) 三方ヶ原の合戦

【34】天正7年(1579)家康公の三男秀忠^{ひでただ}が誕生しました。この秀忠を出産した家康公の側室(俗称於愛^{おあい})とは次の誰^{だれ}でしょうか？

- (1) 小督局^{おごう} (2) 春日局^{かすが} (3) 西郷局^{さいごう} (4) 茶阿局^{ちゃあ}

【35】天正10年(1582)本能寺の変の後、家康公は素早い動き^{あるじ}で主がいなくなった近隣^{きんりん}の2ヶ国を鎮圧^{ちんあつ}し、これまでの三河・遠江・駿河^{とあとうみ}に合わせ五ヶ国の大大名となります。新たに領国とした2ヶ国とはどこでしょうか？

- (1) 伊豆と甲斐^{いずかい} (2) 尾張と美濃^{あわりみの} (3) 甲斐と信濃^{しなの} (4) 信濃と美濃

【36】天正12年(1584)家康公は小牧・長久手の合戦の講和の印^{しるし}として、二男を養子^{ようし}として差し出します。この二男が、養子先で元服して名乗った最初の氏名は何だったでしょうか？

- (1) 織田秀康 (2) 徳川秀康 (3) 羽柴秀康^{はしば} (4) 結城秀康^{ゆうき}

【37】天正14年(1586)豊臣秀吉^{とよとみひでよし}は、正室を亡くしていた家康公に、既に他家に嫁いでいた実の妹を離婚させ、継室(後妻)として嫁がせました。この秀吉の妹の名は次のどれでしょうか？

- (1) 朝日姫 (2) 小松姫 (3) 茶々姫 (4) 初姫

【38】秀吉は、妹を嫁がせても上洛^{じょうらく}して臣下の礼をとらない家康公に対し、さらに生母の大政所^{おおまんどころ}を家康公のもとに送りこむことでその思いを達します。このとき、大政所と家康夫妻が対面し、家康公が上洛中、大政所が娘とともに滞在したのはどの城でしょうか？

- (1) 江戸城 (2) 岡崎城 (3) 浜松城 (4) 駿府城

【39】家康公の母 於大が再婚相手の死後（天正 15 年（1587））、剃髪して称した名前（法名）は何だったでしょうか？

- （ 1 ）華陽院 （ 2 ）高台院 （ 3 ）随念院 （ 4 ）伝通院

【40】天正 17 年（1589）頃、家康公の養女となって真田信之に嫁いだ女性で、関ヶ原の合戦を前に、敵となった義父 昌幸が居城の上田城に向かう途中、孫の顔を見たいと信之不在の沼田城に立ち寄った際、父といえども敵となった以上は城には入れられないと武装して断固拒絶した本多忠勝の娘（幼名 稲姫）は誰でしょうか？

- （ 1 ）勝姫 （ 2 ）小松姫 （ 3 ）督姫 （ 4 ）振姫

【41】天正 18 年（1590）豊臣秀吉に実子 鶴松が誕生すると、秀吉は養子にしていた家康公の二男 秀康を関東の大名家に養子に出しました。秀康が 2 度目の養子に入ったのは何家でしょうか？

- （ 1 ）佐竹家 （ 2 ）里見家 （ 3 ）伊達家 （ 4 ）結城家

【42】文禄元年（1592）日本統一を果たした豊臣秀吉は領土的野心を持って中国大陸進出を目指し、朝鮮に出兵します。このとき家康公の男子で出兵したのは誰だったでしょうか？

- （ 1 ）信康 （ 2 ）秀康 （ 3 ）秀忠 （ 4 ）忠吉

【43】文禄 4 年（1595）家康公の三男 秀忠は於江と結婚しますが、この結婚は誰の意志だったのでしょうか？

- （ 1 ）於江 （ 2 ）徳川家康 （ 3 ）徳川秀忠 （ 4 ）豊臣秀吉

【44】秀忠の妻 於江の母は信長の妹の於市おいちですが、父は誰だれでしょうか？

- (1) 浅井長政あざいながまさ (2) 朝倉義景あさくらよしかげ (3) 明智光秀あけちみつひで (4) 藤堂高虎とうどうたかたら

【45】豊臣秀吉の側室は、於江の実の姉（三姉妹の長女）ですが、その姉とは誰でしょうか？

- (1) 於初 (2) 於松 (3) 千姫 (4) 淀殿

【46】慶長3年（1598）豊臣秀吉が亡くなり、五大老筆頭ひつとうだった家康公が真っ先におこな行ったことは次の何だったのでしょうか？

- (1) 北九州への徳川軍はけんの派遣 (2) 朝鮮半島への援軍えんぐんの派遣
(3) 朝鮮半島からの全軍撤兵てつぺい (4) 明国みんこくへの降伏

【47】慶長5年（1600）木曾川渡河とがぎふじょう、岐阜城の戦いに始まる一連の関ヶ原せきがはらの合戦で、東軍の主戦力となったのは次のどのグループでしょうか？

- (1) 朝鮮に出兵した豊臣恩顧おんこの武断派大名
(2) 秀吉に反発を感じていた官僚派かんりょうは大名
(3) 徳川恩顧ふだいの譜代大名
(4) 徳川・松平一門

【48】関ヶ原の合戦において、家康公の子供たちもそれぞれの役割になを担いました。その中で、二男 秀康が果たした内容は次のどれでしょうか？

- (1) 家康公本隊と行動を共にし、関ヶ原の本戦に参加した。
(2) 徳川の別動隊として、秀忠と共に進軍し関ヶ原に向かった。
(3) 会津あいづの上杉景勝かげかつの抑えとして、関東に残り江戸を守った。
(4) 単独で別動隊ひきを率い、大坂城を攻めた。

【49】関ヶ原の合戦に際して、徳川の本隊を率いた三男 秀忠がとった行動は、どのようなものだったでしょうか？

- (1) 家康公とともに東軍の中心戦力として戦い、石田三成を捕らえた
- (2) 関ヶ原の合戦に遅参し、結果として徳川譜代大名の温存につながった
- (3) 江戸城に残り、上杉景勝や佐竹義宣など関東にいる豊臣大名を牽制した
- (4) 伊達政宗とともに会津の上杉景勝を攻め、陸奥を平定した

【50】関ヶ原の合戦で、義父の井伊直政と共に、先鋒の福島正則を出し抜いて活躍したものの、その後28歳の若さで亡くなった家康公の男子はだれでしょうか？

- (1) 忠輝
- (2) 忠長
- (3) 忠吉
- (4) 信吉

【51】関ヶ原合戦の後、二男の秀康は家康公より下総国10万石から一躍67万石の大大名に取り立てられました。秀康が賜った新しい領地はどこでしょうか？

- (1) 出雲国 松江
- (2) 越後国 高田
- (3) 越前国 北庄
- (4) 駿河国 駿府

【52】慶長6年(1601) 秀忠の二女 珠姫がわずか3歳で嫁いだ外様大名は何家でしょうか？

- (1) 加賀 前田家
- (2) 薩摩 島津家
- (3) 長門 毛利家
- (4) 陸奥 伊達家

【53】慶長8年(1603) 秀忠の長女 千姫が7歳で嫁いだ相手はだれでしょうか？

- (1) 豊臣秀頼
- (2) 徳川義直
- (3) 前田利常
- (4) 松平忠直

【54】慶長10年(1605) 将軍職を秀忠に譲った家康公は、政治の実務に一定の距離を置くため、慶長12年(1607)に秀忠がいる江戸城とは別の場所に居城を移します。そこはどこでしょうか？

- (1) 岡崎城 (2) 駿府城 (3) 二条城 (4) 浜松城

【55】将軍職を辞し、江戸城から居城を移した家康公が、自分の周囲に招き集めたのはどのような人物たちだったのでしょうか？

- (1) 一族の菩提を弔うための高名な僧侶たち
(2) 平和国家を持続させるための外交から民政までの幅広い分野の専門家たち
(3) 武辺話を楽しむための苦楽を共にした譜代の三河の老臣たち
(4) 山海の珍味を堪能するための京・大坂の調理人たち

【56】家康公が、秀忠の妻 於江に書いて渡したと伝わる「庭訓状(御婦美とも)」とは何を教示した書状だったのでしょうか？

- (1) 徳川将軍家の妻としての歴史認識のあり方
(2) 江戸城内の建物や庭園などの管理の仕方
(3) 大奥で使用する多くの女性の使い方
(4) わが子に対する教育、子育ての心得

【57】家康公に命じられ、秀忠と於江との長男 竹千代(家光)の乳母となって家光を養育し、後に大奥総取締となった女性はだれでしょうか？

- (1) 小督局 (2) 春日局 (3) 西郷局 (4) 茶阿局

【58】2代将軍となった秀忠の子で、於江以外の女性(於静)を母に持つ男子はだれでしょうか？

- (1) 徳川家光 (2) 徳川忠長 (3) 保科正之 (4) 松平定信

【59】秀忠の二男で、駿河・遠江・甲斐 55 万石の大大名となったものの、將軍家の安定・安泰のため改易された家光の弟 駿河大納言とは誰でしょうか？

- (1) 徳川忠長 (2) 徳川光貞 (3) 保科正之 (4) 松平家忠

【60】慶長 20 年 (1615) 大坂夏の陣で真田幸村を討ち取り、家康公から「天下第一、古今無双」と称賛され、天下の名器「初花の茶入」などを賜った松平忠直は家康公の孫ですが、この忠直の父は誰でしょうか？

- (1) 信康 (2) 秀康 (3) 秀忠 (4) 忠吉

【61】大坂夏の陣で豊臣家が滅ぶと、家康公は朝廷に願い元号を「元和」と改め、全国に「元和偃武」を宣言しました。元和は“平和のはじめ”という意味ですが、偃武とはどのような意味でしょうか？

- (1) 徳川幕府が武をもって国を治める
(2) 武器を武器庫に収め、文をもって国を治める
(3) 朝廷に代わり武士が世を治める
(4) 徳川幕府に従わない者から武器を取り上げる

【62】元和元年 (1615) 江戸幕府が発布した「一国一城令」とは、どんな法令だったのでしょうか？

- (1) 藩財政を立て直すため、最も不要な城を一つ取り壊すべし
(2) 城は藩政の府として一つ残し、要塞としての他の城は取り壊すべし
(3) 藩の防衛は自己責任であるから、どの藩ももう一つ城を新築すべし
(4) 幕府の御用のため、どの藩も幕府に城を一つ差し出すべし

【63】元和元年 (1615) 江戸幕府は平和な時代における武士のあるべき姿、心構えを示した法律を発布しましたが、それはなんのでしょうか？

- (1) 慶安御触書 (2) 御成敗式目 (3) 一七条憲法 (4) 武家諸法度

【64】元和元年（1615）江戸幕府から発布された「^{きんちゅうならびにくげしよはつと}禁中並公家諸法度」とは、
どんな法令だったのでしょうか？

- (1) 戦国乱世により^{きゅうぼう}窮乏した皇室および公家の^{くげ}財政を再建させるもの
- (2) 皇室および公家の^{ちつじよ}秩序回復と、果たすべき役割を明文化したもの
- (3) 皇室や公家を幕府の家臣と定めるもの
- (4) 皇室が公家や武家に官位を与える際の基準を定めたもの

【65】徳川政権の将来に^{わた}亘る安定を図るため、家康公の九男、十男、十一男を^{はんそ}藩祖
に後に^{ごさんけ}御三家が設けられましたが、御三家^{ひつとう}筆頭尾張徳川家の藩祖となつたの
は誰^{だれ}でしょうか？

- (1) ^{ひでやす}秀康
- (2) ^{よしなお}義直
- (3) ^{よりのぶ}頼宣
- (4) ^{よひふさ}頼房

【66】徳川御三家とは、尾張徳川家、水戸徳川家とどこの徳川家でしょうか？

- (1) ^{あいづ}会津
- (2) ^{えちぜん}越前
- (3) ^{きい}紀伊
- (4) ^{ひとつばし}一橋

【67】家康公の子のなかで、ただ一人岡崎城で誕生したのは誰でしょうか？

- (1) ^{かめひめ}亀姫
- (2) ^{とくひめ}督姫
- (3) ^{のぶやす}信康
- (4) ^{ひでやす}秀康

【68】家康公の男子のなかで、^{めつぼう}滅亡した武田家の^{めいせき}名跡を継いだものの生来病気がち
で21歳の若さで亡くなったのは誰でしょうか？

- (1) ^{ただてる}忠輝
- (2) ^{ただなが}忠長
- (3) ^{ただよし}忠吉
- (4) ^{のぶよし}信吉

【69】豊臣家^{めつぼうご}滅亡後の大坂城を欲したとも伝わる問題児で、伊達政宗の娘^{だてまさむね}五郎八姫
を正室^{つま}（妻）に迎えた家康公の男子は誰でしょうか？

- (1) 忠輝
- (2) 忠長
- (3) 忠吉
- (4) 信吉

【70】家康公の八男で、家臣の平岩親吉に養子に出されたものの、幼少で亡くなったのは誰でしょうか？

- (1) 於義丸 (2) 竹千代 (3) 仙千代 (4) 松千代

【71】大坂夏の陣の不行跡を理由に改易されながらも、三英傑に受け継がれた「野風の笛」を家康公から形見に渡され、5代将軍綱吉の時代まで生きて、配流先の信州 諏訪で93歳の長寿を全うした家康公の男子は誰でしょうか？

- (1) 忠輝 (2) 忠長 (3) 忠吉 (4) 信吉

【72】家康公の娘で、小田原の北条氏直のもとに嫁ぎ、北条氏滅亡後は姫路の池田輝政に再嫁したのは誰でしょうか？

- (1) 勝姫 (2) 亀姫 (3) 小松姫 (4) 督姫

【73】家康公の孫千姫は大坂の陣で夫を亡くし、翌、元和2年(1616)、譜代の大家に再嫁します。当時、桑名城主で、翌年、姫路に移封となったこの大家の嫡男(再婚相手)は誰だったでしょうか？

- (1) 井伊直孝 (2) 酒井忠勝 (3) 榊原忠次 (4) 本多忠刻

【74】元和2年(1616)、遺言により駿河国内に埋葬された家康公は東照大権現となり、翌年、1周忌を終えるとある場所に改葬されました。新たに東照宮が建てられたある場所とはどこでしょうか？

- (1) 久能山 (2) 日光山 (3) 富士山 (4) 三河湾

【75】元和6年(1620)、2代将軍 秀忠の五女が後水尾天皇のもとに入内し中宮(皇后)となりましたが、この娘の名前は次のどれでしょうか？

- (1) 江与 (2) 興子 (3) 京子 (4) 和子

【76】元和9年(1623)、将軍職を辞した秀忠は、家康公の政治手法を踏襲し、3代将軍 家光と二元政治を行いました。将軍職を辞した秀忠は何と呼ばれたでしょうか？

- (1) 大御所 (2) 関白 (3) 公方 (4) 相国

【77】水戸黄門で知られる徳川光圀は徳川頼房の三男です。光圀からみて、家康公はどんな関係(続柄)になるのでしょうか？

- (1) 曾祖父 (2) 祖父 (3) 叔父 (4) 父

【78】後水尾天皇と秀忠の五女(家康公の孫娘)との間に生まれた女一宮(娘)が、寛永6年(1629)、第109代天皇として即位します。この女性天皇をなんと言うのでしょうか？

- (1) 元明天皇 (2) 孝謙天皇 (3) 齐明天皇 (4) 明正天皇

【79】寛永11年(1634)より開始された日光社の大造営(大規模増改築)に合わせ3代将軍 家光は岡崎の寺社を次々と修復・整備しましたが、それらはどのような寺社だったでしょうか？

- (1) 松平氏、徳川氏ゆかりの寺社
(2) 皇室ゆかりの寺社
(3) 東海道沿いの寺社
(4) 三河一向一揆の際に家康公が破却した一向宗の寺社

【80】日光社にっこうしゃの大造営だいぞうえいに合わせ、3代将軍 家光により新たに岡崎こんりゅうに建立・造営された寺社はどれでしょうか？

- (1) 岡崎てんまんくう天満宮 (2) 滝山たきさんじ寺 (3) 滝山たきさんとうしょうぐう東照宮 (4) 龍城たつき神社

【81】寛永 11 年 (1634) 家光の上洛を機に本格的な板橋に造り替えられ、江戸期をとおして日本一の長さを誇った橋はどれでしょうか？

- (1) 木曾きそ大橋 (2) 京 三条大橋
(3) 江戸 日本橋 (4) 岡崎やはぎ 矢作橋

【82】寛永 12 年 (1635) 武家諸法度を改訂し、家光が各大名などに義務ぎむづけした制度で、原則として諸大名は一年ごとに江戸と自領さいしとを行き来し、妻子は江戸に常住じょうじゅうするよう定めたものを何というでしょうか？

- (1) 一国一城令 (2) 参勤交代さんきんこうたい (3) 定府じょうふ (4) 転封てんぽう

【83】3代将軍 家光が実施した「鎖国さこく」とは、幕府が独立国の政府として外交と貿易ぼうえきを掌握しょうあくする手段として実施した政策で、宗教と貿易の分離をはかったものでした。この「鎖国」の内容について誤っているのはどれでしょうか？

- (1) ポルトガル船の来航を禁止した
(2) 平戸のオランダ商館を長崎の出島に移した
(3) オランダを除く一切の国との貿易を禁止した
(4) 李氏朝鮮りしちょうせんと琉球りゅうきゅうからは通信使などが来日した

【84】寛永 14 年 (1637) 幕府が鎖国政策をとる原因ともなった事件が起こりました。その事件とは次のどれでしょうか？

- (1) イスパニア艦隊かんたいの来航らいこう (2) 紫衣事件しえ
(3) 島原の乱 (4) 由比正雪ゆいしょうせつの乱

【85】3代将軍 家光が寄進した本殿、拜殿などの権現造りの社殿が、現在、国の重要文化財になっている岡崎市にある神社で、家康公の産土神として知られるのはどこでしょうか？

- (1) 菅生神社 (2) 龍城神社 (3) 六所神社 (4) 矢作神社

【86】3代将軍 家光は、保科家の養子となっていた正之を将軍家の連枝(兄弟)として認め、大名として処遇しました。寛永20年(1643)、保科正之が藩祖となり、明治まで続いたのは何藩でしょうか？

- (1) 越前 福井藩 6 7 万石 (2) 肥後 熊本藩 5 1 万石
(3) 三河 岡崎藩 5 万石 (4) 陸奥 会津藩 2 3 万石

【87】3代将軍 家光は慶安4年(1651)4月に没しますが、病の床に弟の保科正之を呼び寄せ将軍家の行く末を託しました。11歳の4代将軍 家綱を補佐し、これまでの政治を大転換させた正之の政治を何と呼ぶでしょうか？

- (1) 二元政治 (2) 武断政治 (3) 文治政治 (4) 民主政治

【88】保科正之が人口の増えた江戸の飲用水を確保するために、新たに開削させた上水道は次のどれでしょうか？

- (1) 神田上水 (2) 玉川上水 (3) 本所上水 (4) 三田上水

【89】「明暦の大火」では江戸城も被災しました。復興に当たり保科正之が、平和な時代においては無駄な出費と反対し、再建されなかったのは何でしょうか？

- (1) 大奥 (2) 外堀 (3) 天守閣 (4) 西の丸庭園

【90】江戸時代をとおして多くの大名が改易かいえきされていますが、その8割以上は幕藩ばくはん体制たいせいが確立されるまでの、初代から三代将軍の間に集中しています。
次の中で、もっとも多くの大名家を改易した将軍は誰でしょうか？

- (1) 初代将軍 徳川家康 (2) 2代将軍 徳川秀忠
(3) 3代将軍 徳川家光 (4) 4代将軍 徳川家綱

【91】後の8代将軍 徳川吉宗よしむねは、家康公のどの男子の子孫でしょうか？

- (1) 秀忠 (2) 義直 (3) 頼宣 (4) 頼房

【92】幕末に京都守護職として禁裏きんり（朝廷）を守護し、戊辰戦争では藩祖の遺言ゆいごんを守り、最後まで将軍家を守って薩長軍さつちょうぐんと戦った松平容保かたもりの家は、家康公のどの男子の系統でしょうか？

- (1) 信康 (2) 秀康 (3) 秀忠 (4) 忠吉

【93】岡崎市では毎年4月の第1日曜日に「家康行列」を開催していますが、出発地点は、松平家の氏神で、松平軍が出陣の際、戦勝祈願をした神社です。この神社はどこでしょうか？

- (1) 伊賀八幡宮 (2) 岡崎八幡宮 (3) 鶴岡八幡宮 (4) 若宮八幡宮

【94】「家康行列」は、岡崎藩主だった本多家が藩祖 忠勝まつ せいせいだいみょうじんを祀る映世大明神さんけいを参詣する際に、藩主を先頭に家臣一同が鎧兜よろいかぶとを身に着けて行軍したのが由来ゆらいになっています。この映世大明神は、明治になって岡崎城内にあった家康公まつを祀る東照宮と合体し、神社となりましたが、この神社はどこでしょうか？

- (1) 犬頭神社けんとう (2) 白山神社はくさん (3) 龍城神社たつぎ (4) 六所神社ろくしょ

【95】松平家の菩提寺^{ぼだいじ} 大樹寺には、歴代将軍の亡くなったときの身長と同じ高さに作られた位牌^{いはい}がありますが、家康公の位牌の高さは何センチでしょうか？

- (1) 149 c m (2) 159 c m (3) 169 c m (4) 179 c m

【96】明応2年(1493)、松平弾正左衛門信貞^{だんじょうざえもんのかさだ}により創建された寺院で岡崎城の北に位置し、松平7代 清康、清康の正室 春姫^{はる}(波留姫)、そして家康公の父 広忠の墓があるこの寺はどこでしょうか？

- (1) 広忠寺^{こうちゆうじ} (2) 松応寺 (3) 大樹寺 (4) 大林寺^{だいらんじ}

【97】次の松平・徳川家の6人の嫡男^{ちやくなん}の中で、岡崎生まれは何人でしょうか？

< 清康、広忠、家康、信康、秀忠、家光 >

- (1) 1人 (2) 2人 (3) 3人 (4) 4人

【98】菅生川^{すごうがわ}(乙川^{おとがわ})の南にあった岡崎城を、現在の位置(川の北側の竜頭山^{りゅうとうざん}の場所)に移したのは誰だったでしょうか？

- (1) 清康 (2) 家康 (3) 信康 (4) 家光

【99】家康公の祖父 清康が誕生してから、戦乱の時代に終わりを告げる元和偃武^{げんなえん ぶ}まで、およそ何年かかったでしょうか？

- (1) 50年 (2) 100年 (3) 150年 (4) 200年

【100】平成15年(2003)に徳川記念財団を立ち上げられた徳川恒孝^{つねなり}様は、家康公から数えて徳川宗家の何代目でしょうか？

- (1) 14代 (2) 16代 (3) 18代 (4) 20代

以上 おつかれさまでした。